

「平成 30 年度 立川教育フォーラム」について～児童・生徒の主体的・対話的で深い学び～

第 24 回教育委員会定例会
平成 30 年 12 月 27 日
教育部 指導課

I 目 的

- 1 立川市立小・中学校の教育実践を市民に周知し学校教育の取組に対して、理解を深める契機とする。
- 2 各学校が本年度の児童・生徒の主体的な取組を共有し、次年度の教育実践に活かす契機とする。
- 3 実践発表や講演会を通して、学校教育や「主体的・対話的で深い学び」の基盤となるコミュニケーション、地域を含めた「つながり」の大切さについて、市民・学校の共通理解を図る。

II III IV ◇

テーマ 日時 会場 講演

『主体的・対話的で深い学び』を支える『つながり』について考える
平成 31 年 2 月 16 日（土）午後 1 時～午後 4 時 30 分
立川市民会館大ホール（RISURU ホール）

「主体的・対話的で深い学びを支える『つながり』を生かした学校づくり」
大阪大学大学院人間科学研究科 教授 志水 宏吉 先生

V 内 容〈児童・生徒による発表〉

職場体験協力事業者表彰

市民及び事業者、「中学生に、社会の一員としての自覚を培うとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成するための『中学生の職場体験事業』」について、より一層の理解・協力を得るとともに、協力いただいた事業の方々へ感謝の気持ちを伝えます。



職場体験報告

中学生が実際に「職場体験」をする前と後の、生徒自らの社会性や勤労観・職業観の変容等について、発表することを通して、発表者には内面化を図り、市民・事業者には、「職場体験」の教育的意義についての理解を一層深める契機とします。



平成 29 年度表彰事業者

○入船茶屋、○洋菓子のプルミール、
○株式会社 いなげや、○株式会社
久田、○万田商事株式会社、○特定非
営利法人 こぶしの会、○社会福祉法
人 愛光学舎、○社会福祉法人 至誠
学舎、○CTB オクズミ、セブンイレブ
ン 立川若葉町 3 丁目店

立川市・大町市姉妹都市中学生サミット報告

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会に向けて、立川のよさを英語で PR しよう！
英語で、その様子をお伝えします！



平和学習 広島派遣事業報告

- ◇ 8 月 23 日（木）～24 日（金）1 泊 2 日
- ◇ 事前学習や原爆ドーム、平和祈念館等の施設を見学したこと、実際に被災された方の体験談から、生徒自身が感じたこと、考えたことを発表します。



児童会・生徒会サミット報告

- ◇ 児童会サミット：12 月 8 日（土）
- ◇ 生徒会サミット：12 月 1 日（土）
- ◇ テーマ

〔報告事項〕

- ・ 2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた各校の取組の成果と課題について

〔協議事項〕

- ・ SNS 等の使用について
- ・ わたしたちが考える 10 年後の立川市について

当日、活発に話し合われた内容について発表します。共に考える契機になれば……

立川市立科学教育センターの取組報告

立川市では、1964 年から独自に科学教育センターを開設し、2008 年には希望者全入とし、今日に至るまで理科教育振興を図ってきました。

本年度、平成 30 年度は過去最高の 199 人の応募がありました。年間 16 回の講座を計画し、科学への学びの場を開いています。

また、11 月に開かれた「宇宙エレベーターロボット競技会」全国大会に出場し、国内 3 位となりました。

当日、「宇宙エレベーターロボット」をはじめ、科学教育センターの取組を紹介します。共に科学する心を育む契機になれば……